

ノロウイルス情報 第6号

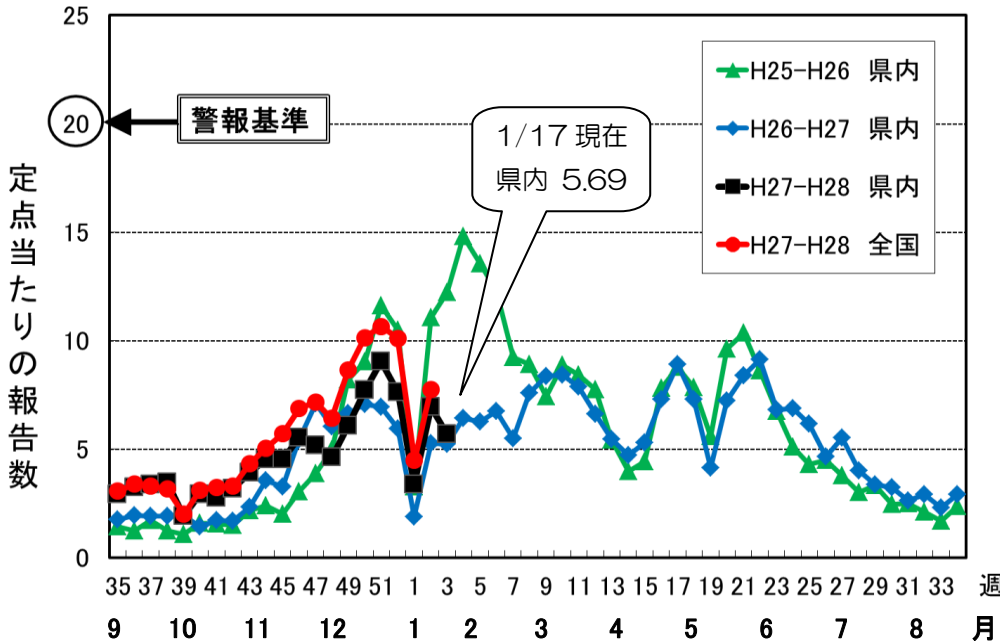


平成 28 年 1 月 25 日
福祉保健部生活衛生課
健康対策課

県内における定点医療機関当たりの感染性胃腸炎の報告数は前週よりも減少していますが、保育園等における感染性胃腸炎の集団発生は増加傾向にあるようです。感染拡大を防止するため、手洗いを徹底し、おう吐物等の処理や施設の消毒を適切に行いましょう。

感染性胃腸炎定点当たりの報告数*(感染症サーベイランス)

※報告対象医療機関当たりの感染性胃腸炎(ノロウイルス以外も含む)の患者数



地域振興局別報告数(定点当)

(H28.1.11~1.17)

新潟市	5.06 (-0.88)
新発田	5.20 (-4.20)
新津	1.00 (+1.00)
三条	3.50 (-7.67)
長岡	7.33 (+0.22)
魚沼	10.00 (+5.00)
南魚沼	6.00 (±0)
十日町	6.00 (+1.50)
柏崎	7.00 (+1.00)
糸魚川	4.00 (+0.50)
村上	1.00 (±0)
佐渡	5.50 (-3.00)
上越	9.83 (-0.34)

国が示す警報基準は20
※()は前週と比較した増減

おう吐物の適切な処理

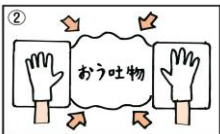
ノロウイルスに感染した人のおう吐物には大量のノロウイルスが含まれています。おう吐物の処理を適切に行うことが、感染の拡大防止につながります。



① 窓を開けて換気をよくし、手袋・マスク・エプロンを着用する。(処理者以外は他の部屋に移る。)



④ 汚物が入った袋と使い捨て手袋等をビニール袋に入れ、口を縛って廃棄する。



② おう吐物をペーパータオルや使い捨ての布等で外から中心に向かって静かに拭き取り、ビニール袋に入れて口を縛る。

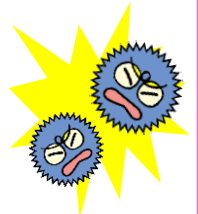


⑤ 作業後は流水と石けんでよく手洗する。

2度洗い有効



③ **0.1%消毒液**に浸したタオルで10分間覆い(ノロウイルスを失活させる。)、その後、水拭きする。カーペット等に付着し消毒液を使用できない場合は、スチームアイロンによる十分な加熱処理が有効。



0.1%消毒液: 次亜塩素酸ナトリウム(6%原液)を500mLのペットボトルにキャップ2杯入れ、水を加えて500mLにする。(次亜塩素酸ナトリウムの使用に当たっては「使用上の注意」をよく確認しましょう。)

次号は、平成28年2月8日頃に発行予定です。

詳しい予防ポイントは新潟県ホームページ内「にいがた食の安全インフォメーション」をご覧ください。

<http://www.fureaikan.net/syokuinfo/> またはネットで「にいがた食の安全」と検索!



お問い合わせ ◆生活衛生課 Tel 直通 025(280)5205 ◆健康対策課 Tel 直通 025(280)5200
もしくは最寄りの地域振興局健康福祉(環境)部(保健所)まで

